



自分や大切な人の笑顔を守るため

がん検診を受けましょう

■問い合わせ いきいき健康課 ☎ 23-3220

「定期的な検診」を忘れずに

がんは研究が進み、従来よりも治療によって完治するケースが増えてきました。しかし、自覚症状は進行した段階で初めて現れることもあります。また、症状が現れてから病院へ行くと、「がんが進行していた」といった場合もあります。

重症にならないためのカギは「定期的な検診による早期発見」です。早期発見ができると、自分の希望する治療を選択でき、命を落とさずに済みます。

あなた自身や大切な人が、悲しい思いをしなくて済むように定期的ながん検診を欠かさず受けることが大切です。

また、検診の結果で精密検査が必要になった場合には、必ず受診しましょう。

働き盛り世代の大腸がんに注意

近年、安来市では、特に「働き盛りの40～64歳の男性」が大腸がんで亡くなるケースが増えています。また、女性で死亡者数の多いがんの種別、第1位は大腸がんとなっています（人口動態統計、SHIDS 島根県健康指標データベースから）。

今年のがん検診は、集団検診の場合、会場での混雑を避けるため事前予約制とします。受診の際の体調確認や機器の消毒、換気など、感染予防策をとりながら行います。医療機関でのがん検診も感染予防策をとりながら実施しています。また、受診の際はマスク着用をお願いします。

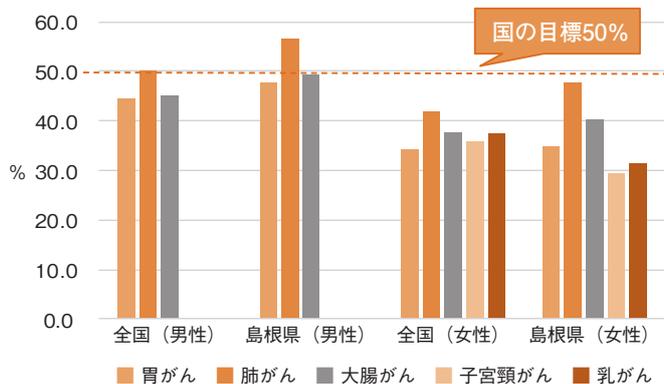
今年のがん検診は



安来市のがん検診では、40歳以上の人を対象に検便検査（2日法）による大腸がん検診を行っています。料金は500円で、医療機関で受ける個別検診と地域の検診会場に提出する集団検診があります。



10月は厚生労働省「がん検診受診率50%達成に向けた集中キャンペーン月間」です



2016年の前回調査と比べて、すべてのがんで受診率は少し増えました。男性の肺がん検診受診率など、50%を超えている項目もありますが、まだ目標を達成していない項目が多いです。

ぜひこの機会に誘い合って、がん検診を受けましょう。

左図：都道府県別 がん検診受診率 (%) 2019年 (2019年国民生活基礎調査から)

子宮頸がんは20歳以上、そのほかは40歳以上のデータ